

微生物分科会活動報告

代表 阿部 恵子（環境生物学研究所）

2009年度の微生物分科会の活動は、①8月7日に開催された講演会、②空気清浄機の空中浮遊菌除去性能評価法について国際学会で発表、③2009年度室内環境学会総会・研究発表会の分科会主催シンポジウム「空気清浄機除菌性能について」である。

① 講演会（8月7日）

場所：新日本空調(株)茅野研修所 長野県茅野市宮川7033-182

講演内容

山岸 弘（ライオン(株)）

『住環境の汚れと住居用洗剤の役割について』

住環境の汚れの、性質・付いている材質・付き方などについて述べ、それらの汚れを洗剤が落とす仕組みについての解説があった。併せて、汚れや掃除に対する生活者の意識、生活者が気にしている微生物汚染による不具合について、アンケート調査などからの報告があった。

柳 宇（国立保健医療科学院）

『建築物におけるバイオテロ対策の現状』

2001年のアメリカ同時多発テロ事件を契機に、テロに対する危惧が高まっており、テロに用いられる物質として、生物（バイオテロ）、化学物質、核、放射性物質などがある。本講演では、建築環境におけるバイオテロリズムの現状とその対策について海外での研究の紹介があり、さらに演者の研究としてIMD（リアルタイム細菌ディテクタ）を用いた室内環境調査についての報告があった。

② 空気清浄機の空中浮遊菌除去性能評価法について国際学会で発表（9月16日）

2009年9月13日～17日にSyracuse（米国）で開催された、Healthy Buildings 2009, 9th International Conference and Exhibitionにおいて、“Evaluation Test of Air Cleaners on Removal Performance of Airborne Microbes”のタイトルで、空気清浄機による空中浮カビ孢子除去性能評価法についてBioaerosolsセッションで発表した。本発表は口頭発表で、微生物分科会プロジェクトが活動していた時期（2004年4月～2008年3月）に室内環境学の会長であった池田耕一先生に発表をお願いした。

③ 2009年度室内環境学会総会・研究発表会の分科会主催シンポジウム（12月15日）

テーマ：空気清浄機の除菌性能評価法について

座長 池田耕一

1. 空気清浄機の除菌性能評価法概要（阿部恵子）
2. 散布菌の選択（阿部恵子）
3. 試験室（漏洩試験、消毒法も含めて）（奥田舜治）
4. 超音波散布法（須山祐之、大塚哲郎）
5. 性能評価のための浮遊微生物サンプリング法（柳 宇）
6. 実施例（川上裕司）

講演は、1人15分～20分程度で、全体で2時間の予定。